

### 早朝の交通渋滞緩和へのご協力に感謝

早朝から本校生徒の「送り」に感謝します。子供たちの夢実現のためできる限り応援して参りましょう。

ところで、昨年より学寮近くの校門において交通ルールのご協力を依頼しております。左図は以前の車の流れですが、緑色の植え込み過ぎでUターンしてしまうと①の付近で詰まってしまう、流れが悪くなります。それが原因で、国道からの車が入れなくなり国道が渋滞となっていました。そのときの遅刻の理由に「国道の渋滞により」

と平気で話す生徒もいました。国道では図よりずっと右側にある信号機まで詰まることもあります。時間ぎりぎりの生徒は教室まで百m以上もダッシュする必要があったのです。また、何と言っても②では小学一年生が横断歩道を渡ります。身長が低くて車両から見えにくく、地域のみではなく、当時の本校生徒からも「危ないから何とかして下さい」と涙ながらの訴えもありました。

現在は、国道から入り

学寮前の校門で生徒を降ろした後は、Uターンではなく、そのまま私道を直進し、標識に従い、また、国道へ出る方法で協力をお願いしています（左図）。なお、7時10分前に通過する車両に関しては、Uターンしてもかまわないとしています。

また、正門前（コンビニエンスストア前）で生徒を降ろすことは遠慮していただいています。幅員が狭く、渋滞の原因です。以前は、そこで生徒を降ろす際の停止、降ろした後の発進の際に追突・接触事故もありました。年間に数回はありました。私も生徒を病院へ搬送したことがあります。

向陽高校の朝の交通渋滞の解消は二十年来の懸案事項でした。地域の方、警察からも指導を受けてきた経緯があります。様々な方策を考案、実施してきましたが、解決には至りませんでした。今回は上手くいっています（と思っています）。昨年、糸満警察署からも感謝状を受けています。今後ともご協力をお願いします。

### 「進学したい」「進学させたい」気持ちが大切

本校は24年目を迎えています。過去には10周年を祈念して「創立10周年記念誌」を発行しました。その中に私の意見が載っています。それは、今でも気持ちは変わりません。

向陽高校に赴任したときは校長から『「進学校」なので必ず大学…』と聞いていました。二期生、三期生には、「進学校だから頑張れ」と励ましてきたんです。しかし、他県の進学校を訪問した際に、休みの日も長い時間部活動をやっていたり、0校時なしで授業のみで生活していた。それを向陽高校にも適用し一時、家庭学習、講座等に力を入れない時期がありました。結果、センター試験の点数が下がる事態となっていました。それからはだいぶ変わって「進学校だから…」という文言は使っていません。「向陽は進学校ではなくて進学したい（人の来る）学校だからそれなりのことをしないとイケない」と言っています。宿題はちゃんと提出する。家庭学習も学年十一時間はやる。職員・保護者にとっては「進学させたい」学校なんです。それなりに学習指導は丁寧にやらなければならない。大晦日や正月に「化学を教えてください」と呼び出され、学校を開けたこともありました。生徒の「進学したい」、職員は「進学させたい」と両方の気持ちが一致したときに力を発揮する。これが向陽の進む道ではないかと考えています。

私の考える「進学校」とは課題、復習は当然、予習をして授業にのぞむことのできる生徒の集団の状況です。

### 心に残ることば

一般社団法人アジア支援機構代表理事池間哲郎氏の講演を聴かせていただく機会がありました。演題は、「懸命に生きる人々～日本人こそ学んで欲しい～」主に東南アジアの子供たちの生活状況を照会していました。今、できることを紹介していました。涙なしでは聴けません。その中の言葉です。

一番のボランティアは自分自身が一生懸命生きること（意味深長な言葉です） 「ありがとう」の反対語は「あたりまえ」（感謝していますか） 「愛情」には「厳しさ」が含まれる（優しさのみでは子供たちは成長しません）

指導の三原則です。①やっただことがないことはできない。②教えられてないことはわからない。③繰り返し行わなければ上達しない。（3つともその通りです。子供たちができないときは手助けしましょう。厳しさを持って）

